

【豊かな心】
「自律の心」
「慈愛の心」
「挑戦の心」

学校教育目標【豊かな心 たくましい実践】

発行日 令和6年10月25日(金)

1 学年だよ！

第14号

出雲崎中学校 1 学年部

成長が見られた学習発表会

19日(土)の学習発表会にお越しいただき、ありがとうございました。学習発表会は、今までの学習の成果を発表する場であり、鑑賞する場でもありました。意見文発表を聴いたり、吹奏楽部の演奏や各学年の合唱を鑑賞したりして、何かを感じ取るということは、自分の感性を磨くことにもつながります。そういった意味でも、とても充実した行事でした。少しでも子どもたちの成長した姿を感じとってくださったら嬉しいです。大勢の人前で発表するという機会は、中学校3年間の中で数多くはありません。その時々を捉えて、自分の成長を実感して行ってほしいと思います。

意見発表会では、1年生の代表として、_____さんがすばらしい発表を披露しました。下に紹介します。

『コミュニケーションを増やそう』

みなさんは、親子でコミュニケーションをどれくらい取っていますか？

私は、令和6年4月5日の読売新聞に掲載された記事に関心を持ちました。それは、4月から小学生になる子どもを持つ親の不安原因や親子のコミュニケーションの方法などが書かれた記事です。

この記事を選んだ理由は、時代の変化で、共働き家庭やインターネットを使うことが増え、親子で過ごす時間が減り、コミュニケーションが不足するという問題に興味を持ったからです。

振り返ってみると、私も小学1年生の頃、両親が共働きで、同じような状況だったように思います。そして、この4月から中学生になり、私も部活動で帰りが遅くなって、親ともっとコミュニケーションを取ろうと考えていました。母に、この新聞記事を見せたところ、「確かに、仕事から帰ってくると、夕飯作りや風呂掃除などの家事に追われて、忙しいときに話しかけられるとイライラしてしまう。そういう親の態度で、子どもに気を遣わせて会話を少なくさせるのはよくないので、親子で会話する時間を作るのも大事なことだったと気づかされた」と言っていました。

この新聞記事には、子育て心理学協会代表理事であり、愛知県でスクールカウンセラーを務める方のアドバイスが載っています。

「改めて時間を設けなくても、夕飯の準備の時間などを上手にあてて、子どもが不安な気持ちを口にしたときは、質問したり助言をしたりせず聞き役に徹する。ネガティブな気持ちは、人に話して共感してもらうと小さくなる傾向がある。」と書かれていました。

親も子どもも時間がなくなり、コミュニケーションを取るのが難しくなっているけれど、ご飯を食べるときやおでかけをするときなどに、話ができればいいと思いました。母が忙しいときに話すと、イライラさせてしまうので、私も思いやりをもって、手伝いを心がけ、話すタイミングを見て話そうと思います。

コミュニケーションを取ることは、ストレスが軽くなったり、親ともっと仲が深まったりするので、毎日できるようにしていきたいと思います。そうすることで、私の考えていることが分からず、家族を不安にさせることもなくなり、お互いのストレスを減らすことができます。自分の悩みを隠そうと思わず、今まで以上に、遠慮なく言えると思います。それが日常的で当たり前になると、もっと家族と楽しく過ごせると思うので、心がけていきたいです。

10/11月		来週・再来週の予定	給食	部活	下校予定
28日	月	平常授業・全校朝会	○	○	17:45
29日	火	平常授業・避難訓練	○	○	17:45
30日	水	平常授業	○	×	15:35
31日	木	平常授業	○	○	17:45
1日	金	校外学習(良寛史跡巡り)	×	○	17:45
5日	火	平常授業	○	×	16:45
6日	水	平常授業	○	×	15:15
7日	木	第3回テスト①(理・国・数・体・美)	○	×	13:50
8日	金	第3回テスト②(英・社)・3限から平常授業・防災学習(6限)	○	○	17:45

※11/2(土)～7(木)は、定期テスト前部活動停止期間です。
※校外学習についての連絡を裏面に載せてあります。ご確認ください。